

けいはん医療生活協同組合憲章

私たちは、平和を守り「ずっと元気に この街で」のスローガンのもと、明るい街づくりや健康づくりが実現できる、民主的な医療生協をめざします。

けいはん 医療生協ニュース

発行2019年8月1日 No.287

けいはん医療生活協同組合 地域サポートセンター 〒571-0061 門真市朝日町20-15 ☎ 072(882)5025 FAX 072(882)5048 URL http://www.keihan-healthcoop.net e-mail info@keihan-healthcoop.net

組合員現勢

2019年7月1日現在 世帯数 8,716世帯 組合員数 12,473名 出資金 4億42,750千円

2019年 イロハ 学習会 in 寝屋川市民会館

いろいろ学んで 論議して ハッスル ハッスル

つながり マップを活かした地域づくり 高知医療生協に学ぶ

6月27日、イロハ学習会を65人の参加で開催しました。



高知のマップに興味津々

今回提起したのは、パンフ「私の支部の地域まるごとケア」を活用し、①「マップづくり」をできるだけ多くの組合員参加でバージョンアップしよう。②「地域まるごとケア」というのは壮大なイメージだが、それぞれの支部や組合員ができるところから始めよう。③その際に、生協以外の地域の団体・個人にも参加できないか呼びかけてみよう。ーこのことです。

◇ 高知医療生協のマップ



熱く土佐弁で語る高橋組織部長



大阪弁で語る内田まちづくり委員長

は、リーフレット化された地域民生委員さんも活用されています。そして、健康教室やイベントが大手スーパの交流スペースを利用して取り組まれています。こうした先進的な取り組みは、高知医療生協が地域で信頼されていることがベースになつていますが、私たちも条件の違いを理由に消極的になるのではなく「できるところから始める」ことが大切だと思います。そのヒントを示し

点から線に、面に、さらに立体化

学習会で「点から線に、そして面に広げる。さらに、立体化する」と表現しましたが、ではどのように具体化するのか、組合員やその周りの人の願いや相談を地域でのつながりに広げる取り組みは、ゆうゆう支部をはじめいくつかの支部で始まっています。今は介護や医療など私たちと同世代を対象にした取り組みが多いですが、今後は、子育て世代や若者を含む多様な階層の多面的な願いに目を向ける必要があるでしょう。

私たちがめざす「地域まるごとケア」は、憲法で謳われた「健康で文化的な最低限度の生活」が保障されることを求め続けること、そしてそれが困難な下でも、一人でも多くの人たちの命と暮らしが守られるようにサポートするものです。

◇

垣根をつくらず、思い切つてウイングを広げましょう。誰もが集える地域に開かれた「居場所、交流センター」をつくり、皆さんとご一緒に「地域まるごとケア」への挑戦を続けていきたいと思います。

(理事 内田一男)



マップを広げてグループワーク

組織部の名称が変わりました

7月20日より、他団体の方にもわかりやすくするために、組織部の名称を次のように変更いたします。今後さらに、地域の「困った」の解決に力をつくしていきます。

地域サポートセンター

今年もやります

9月14日(土)

3:00~6:00PM

みどり診療所駐車場

模擬店・演芸・子どもコーナー 健康チェック・介護相談等

主催 虹のまつり実行委員会

虹のまつり